

住みよい郷土建設へ

年の始めに — 村長 河田勘市

新しい年を迎え、村内皆さんのご健康を心からお喜び申し上げます。

昭和四十四年の新春にあたり、次の三つをこしの実践事項として、健康で明るい楽しい家庭、社会を築きましょう。

(一) 交通事故を起こさないようにしましょう。

(二) 人にめいわくをかけないようにならしましょう。

(三) 冗費を省いて貯蓄しましょう。躍進する東白川村のこしをいろいろ考えてみました。

災害復旧

昨年は明治百年、日本国が次の世紀へ立ち向う意義深い年に、私たちの村は、百年に一度というような大災害を被り遺憾でした。

天の試練として、これに立ち向う多難な復旧の第一年度を迎えたのです。昨年後半は、応旧復旧措置に取り組み、暮れの二十六日の最後の査定で、復旧工事費二億円にもなり、関連する予防対策費を含めると三億円に達します。

県の援助と、皆さんの協力により早期復旧に努力します。

産 業

大災害を被りながら、国の経済成長とともに好調だったことは幸せであつたと思えます。

農業生産の向上と、林業の経済に及ぼす力で、商工業とも年末における活気があって貯蓄の伸びもめざましくうれしい限りです。

農 業

水稲の近代化と、質の良い米の増産は、今後課題される問題です。昨年は村始って以来の七千余俵の出荷を見たことは、生産者の皆さんの努力のたまものです。

一方、連年の豊作で政府は、過剰米の累積によって、米の作付転換を打ち出してきました。島国である日本の食糧政策は、そんな安易なものではありません。米作地帯に冷害を被った場合、必ず食



私たちは、食糧制度の堅持と、国の一貫した政策を望みます。

農業構造改善事業、振興山林事業の推進によって、基盤が拡大整備されています。こうした時、生産過剰と価格の不安定は農家の大きな悩みですが、現在、国が計画の中の総合農政に期待し、こしも質の良い米を増産することを中心として、自信と意欲をもって、いっそうの努力を続けてほしいと思えます。

林 業

農業とともに、本村経済の基盤です。現在、外材が四割も輸入され山林王国を誇る日本として、恥ずかしい次第です。

村でも、商工業の発展につながる重要産業で、今日、東濃檜の名声も高く、八千ヘクタール山林の高度の利用に期待をかけたと思えます。

地方財政

国は最近、町村財政が好転したと見て、地方税率の引き下げを主張しています。健全財政を堅持しながらも、自主財源に対し財政需要額は年ごとに増え、ますます硬

振興はおろそかにはできません。住民福祉の増進を図ることは自治本来の使命です。いろいろの事業と取り組みながら、災害復旧年度にはいり、苦難な年を迎え、勇敢に乗りこえる決意を要しなければならぬと思えます。

村有林

村有林は、私たちの先輩から伝わる貴重な財産です。健全財政は自主財源の確保にあるもので、決して村有林資源に依存するものではないと考えます。

したがって、国の定める公有林経営計画に基づき、乱伐はつし、本村百年の大計の下で、育成強化を図る方針を貫きたいと思えます。

激動する社会において、私たちの村はますます人口過疎地帯となり、前途は決してたんたんたるものではありません。

現在、国に対して過疎地域振興法の制定を要求していますが、早急にこの制度化を望みたいものです。

実に険しい前途に向って、皆さんの協力によって、住みよい郷土建設に努力したいと思えます。

納め過ぎた所得税は確定申告書で還付をもうすぐ四十三年度の所得税の確定申告が始まります。

源泉徴収された税金や予定納税した税金が納め過ぎになっている人は、確定申告をして納め過ぎになった税金の還付を受けることができます。

通常の確定申告は、二月十六日から三月十五日までの間に行なうことになっていますが、還付を受けるための確定申告書は二月十五日以前でも提出することができますから、特に①給与所得者で、雑損控除や医療費控除などを受けることのできる人②四十三年の途中で退職し、その後就職していないため年末調整を受けなかった人③予定納税をしている人で、確定申告の必要がなくなった人④配当所得のある人などは、税金が納め過ぎになっている場合が多いので、よく調べて早目に申告して還付を受けるようにしましょう。

新しい民生(児童)委員を紹介
します。

昨年十二月一日任期満了による改選された新しい民生(児童)委員

新成人者 国民年金に加入を …安定した生活のために

ことしの成人の日も、本村はもちろん、全国各地で二十歳になった人々を祝う催しものが開かれました。

「おとなになったことを自覚して、自から生き抜こうとする青年を祝いはげます日」が成人の日です。

満二十歳になると、法律的にも社会的にも成人として認められ、成人としての権利が与えられ、義務が課せられます。また、二十歳になることは、国民年金にとつても非常に意義のあることです。すなわち、国民は二十歳になると、厚生年金保険などの公的年金制度の加入者、その制度から年金をうけることができる人、これらの者の配偶者および昼間部の大学生を除いた人たちは、必ず国民年金に加入しなければなりません。国民年金制度は、年をとつたり

亡したりしたときに、老齢年金、障害年金、母子年金を支給して本人やその家族の生活を保障する制度です。

二十歳になつたばかりの若い人には年金というものが遠い将来のことのように考えられがちですが今は元気に働いていても、やがては年をとつて働けなくなるときかやつてきます。また最近では、交通事故による障害が非常に多くなつていますが、このようなときにも安定した生活ができるようになりますため、年金が必要になつてきます。名実ともに社会人としてスタートする「成人の日」を機会に、国民年金制度の重要性と必要性をよく理解していただきたいものです。

二十歳になつて国民年金に加入しなければならぬ人で、まだ加入していない人が少なくありませんが、加入することが本人自身にとつて非常に利益となることですから、今すぐ役場で、加入の手続きをしてみてください。

なお、納めていただく保険料の額は、この一月から三十五歳未満の人は月二百五十円、三十五歳以上の人は月三百円ですが、一年分とか二年分というように、年を単位として前納制度もありますから相談ください。

納税成績

最近の村税の期限内の徴収率は別表のとおりで、極めて良好な成績

このような立派な成績が収められたことは、皆さんの理解と協力を得て振替納税の制度が普及した賜であると村では感謝していただきます。

固定資産税 期限内納付状況

順位	納税区名	納付率
1	大口	100%
1	親田	100
1	上下	100
1	神親	100
1	中付	100
1	加谷	100
1	西舎	100
1	曲洞	100
1	日向	100
1	日陰	100
1	黒地	100
1	柏本	100
1	大沢	100
1	下野	100
1	久須見	100
16	栃山	98,69
17	宮代	97,15
18	大明神	97,06
19	大中通	97,02
20	中平	94,82

住民税第3期分 期限内納付状況

順位	納税区名	納付率
1	大口	100%
1	平親	100
1	下田	100
1	神付	100
1	中谷	100
1	加舎	100
1	西洞	100
1	曲坂	100
1	日向地	100
1	日陰	100
1	黒柏	100
1	宮代	100
1	大沢	100
1	下野	100
1	久須見	100
17	大明神	98,59
18	大中通	98,41
19	栃山	98,30
20	上親	95,00

住民税第2期分 期限内納付状況

順位	納税区名	納付率
1	大口	100%
1	平親	100
1	下田	100
1	上親	100
1	中付	100
1	加谷	100
1	西舎	100
1	曲洞	100
1	日向	100
1	日陰	100
1	黒山	100
1	柏本	100
1	大沢	100
1	下野	100
1	久須見	100
18	大明神	99,30
19	大宮	90,44
20	大宮	41,67

……けいじばん……



氏名(児童委員氏名)	担当区域
安江 繁一	平十二班を除く
田口 和子	平十二班、大口
安江 竹雄	西洞
村雲 邦雄	下親田、上親田
桂川 繁子	中通上組、神付
松岡 安一	中谷、加舎尾
安江 錠太郎	曲坂、日向
桂川 完一	陰地
栗本きと江	栃山、黒洞
今井 一雄	大明神
	柏木、久須見
	宮代、大沢、下野

困つたことがありますら、まず最寄りの民生委員に気軽に相談ください。

あのいまわしい八・一七災害から、早くも半年が過ぎようとしています。被害総額三億円というこの大災害に、一時は途方にくれるほどでしたが、村ぐるみの復旧の努力の結果、自力復旧できるところはそのほとんどが完成、残る被害箇所も測量、査定なども終了しました。そして、局地激甚災害地の指定などで、大幅に補助金もつくことになり、新年を迎えて復旧のつち音がこだましています。本号では災害その後を特集し、皆さんとともに、一日も早く元どおりになるよう努力したいと思えます。

局地激甚災害に指定 大幅な補助も決定しました

八・一七災害は、非常な激甚災害でしたが、その被災範囲が、加茂、美濃加茂を中心とした局地災害だったため、従来の法律による激甚災害の指定基準には該当しませんでした。

このために、復旧にかかる負担が、被災市町村と被災住民に大きくかかることが予想され、財政面の困難が心配されてきました。したがって、この救済について新たに、局地的激甚災害の場合における財政援助など、必要な指定基準を設けるよう被害市町村が一体となつて、国に強力な要望を続けました。

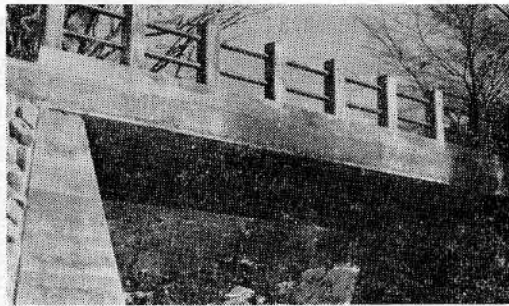
その結果、昨年十一月二十二日の中央防災会議の決定により、いままでの指定基準を大幅に緩和して、局地的災害でも町村単位の被害がその町村の税収入や、農業所得などに對し極めて大きい場合に適用する基準が定められました。

特に、農村関係の災害は、査定復旧費が、その町村の年間農業所得推定額の十パーセントを上回る場合、指定されることになりました。こんどの災害の場合、木村と川辺、七村、白川、美濃加茂の一

したがって、いままでの災害復旧費の補助率に、激甚災害の補助率が上積みされた計算によって、最終補助率が決まりますが、その確定は三月ごろの見込みです。村では、局地激甚指定による若干の補助率アップを見越して、すでに受益者負担を一割に軽減を決定、早期復旧をすすめています。なお、公共土木災害は、村の標準補助率アツプを見越して、すでに受益者負担を一割に軽減を決定、早期復旧をすすめています。

千の補助率アツプを見越して、すでに受益者負担を一割に軽減を決定、早期復旧をすすめています。なお、公共土木災害は、村の標準補助率アツプを見越して、すでに受益者負担を一割に軽減を決定、早期復旧をすすめています。

準収入額の二倍以上の査定復旧費という基準に該当しなかったの、従来の補助率と補助残は起債により復旧することになります。



（完成した久須見林道の永久橋）

査定額も決定へ

八・一七災害復旧工事の現地査定は、昨年の九月十三日から、十二月二十六日までの間、延べ三十三日間行なわれました。

これは、建設省、農林省、大蔵省の査定官によつて実施されたもので、その結果、村内における公共土木災害、農林災害の復旧費の全部が確定しました。

そのうち、村が国の援助を得て復旧する工事は、延べ百三十三カ所、査定復旧費は七千二百九十万円になります。また、国と県が全額負担で復旧する一級河川、砂防

これらの復旧工事は、昭和四十六年度までの四カ年にわたり、緊急度の高い箇所から工事が進められます。その間、実施設計による工事内容の一部変更や、資材、労賃などの値上がりを見込んだ復旧費総額は、二億円に達することが予想されます。災害の、区分別査定結果は別表のとおりです。

急ピッチ 工事査定も終わる

この結果、昨年十一月二十二日の中央防災会議の決定により、いままでの指定基準を大幅に緩和して、局地的災害でも町村単位の被害がその町村の税収入や、農業所得などに對し極めて大きい場合に適用する基準が定められました。

八・一七災害復旧工事の査定結果表

工事区分	工事費	
	箇所	査定額
土木災害	河川道路	22 23,638千円
	橋りょう	4 1,258
	計	6 5,975
	計	32 30,871
農林施設災害	頭首工	19 5,991
	水路	8 5,500
	農道	4 608
	橋りょう(施設)	12 10,277
	農地	43 22,376
計	82 7,479	
計	82 29,855	
計	19 12,170	
計	133 72,896	

工事区分	工事費	
	箇所	査定額
河川災害	白川加子母線	5 3,879
	下呂線	1 690
	計	6 4,569
河川砂防工事	白川	10 4,986
	大明神川	7 9,793
	栢本川	6 30,000
計	23 44,779	
河川砂防工事	河川砂防	14 20,122
	特緊えん提	2 6,560
計	16 26,682	
計	5 3,462	
	50 79,491	
計	183 152,387	

議会だより

村議会定例会

災害復旧費など補正

十二月の「議会だより」で、十二月十六日に定例会が開かれたこととお知らせしましたが、その主な議題と審議の状況は次のとおりです。

昭和四十二年度東白川村の一般会計及び特別会計の、歳入歳出決算を認定することについて昭和四十二年度の東白川村各会計の決算認定の件が、議題として上提され、村長から内容について別記のとおり説明され、審議は継続審議とすることに決まり、次の議会で認定の可否を採決することになりました。

昭和四十三年度東白川村一般会計補正で予算(第六号)

八・一七災害の復旧事業に要する予算が、専決処分されていたので、村長から次のとおり報告し承認されました。

⑤

工事請負費とそれにかかる諸経費です。

次が、主な箇所です。

- (一) 下親田林道工事請負費 二百八十三万六千円
- (二) 久須見林道工事請負費 五百二十五万三千円
- (三) 前山林道工事請負費 百六十五万二千円
- (四) 一木林道工事請負費 十九万六千円
- (五) 衛生費 二十五万四千円
- (六) 農林水産業費 百五十七万七千円
- (七) 六沢水路工事請負費 五十五万五千円

昭和四十三年度東白川村一般会計補正予算(第七号)

- 補正予算は、総額千二百六万九千円が追加されました。主な内容は次のとおりで、審議の結果原案どおり可決されました。
- 総務費 八十七万六千円
- 土木費 二百二十一万五千円
- 道路軽舗装工事請負費 百六十六万七千円
- 教育費 三十六万六千円
- 農業構造改善事務費 二十五万九千円
- 後山林道開設工事費 六十一万三千円

決算規模

従来からの長期健全財政を堅持し、住民福祉の増進を図るため、その施策の推進に努めました。その規模は次のとおりです。

- (歳入) 一億二千五百九万四千九百四十八円
- (歳出) 一億二千八十九万七千八百六十八円

差引繰越額) 四百十九万七千八十円

歳出決算

内容について、母子センター建築費、農業構造改善費、農業振興費、道路橋りょう改善費、教育施設整備費、災害復旧費、村有林造成費、財産取得費など、公共投資に要した経費は、五千六百九十四

七パーセントを占めています。

また、消費的経費についても、できるだけ節約にとめました。産業振興、教育向上、保健推進など住民福祉に直接役立つ経費は、確保するようにしました。

人件費については、事務の合理化

四十三年度決算

健全財政の保持に努力

報告のあらまし

化や、職員の配置転換などによって増員をおさえ、職員費については二十二・七パーセント、人件費の総額においては、二十五・一パーセントにとどめることができました。

し、二千八百三十二万五千円の増加となりましたが、常に議決の精神に基づき、諸施策についてそれぞれの効果を収めたものと確信しています。

歳入決算 村税については、二百二十二万

り、昨年より七百三万二千円の増加となっていますが、すべて予算議決の精神に従って充当しました。

地方交付税については、普通交付金六百七十万四千円、特別交付金百八十八万三千円の増加となっているほか、新たに臨時地方財政交付金二十一万四千円が交付されましたが、臨時特例交付金が廃止され収入減となりました。

以上が状況ですが、歳入予算額の確保と、住民負担の公平に意を用いました。特に村税の収納率は現年度滞納繰越分ともに百パーセントとなりました。これは村民各位の協力のおかげで、いっそう福祉の向上をはかるよう努力しなげ

ことでもあり、購入時の開

▽災害復旧費

七百三十九万一千円

—黒河頭首工ほか四カ所 二百五十万九千円

平水路ほか二カ所 三百八十一万三千円

久須見林道ほか四カ所 三十九万七千円

▽以上の歳出に、次の財源があてられます。

—分担金 九十九万九千円

—国庫補助金 七百六十四万八千円

—財産収入 二百六十六万四千円

—寄付金 四十九万八千円

—村債 百三十万円

□災害復旧事業分担金徴収条例

—土地改良事業分担金徴収条例、

—固定資産評価審査委員会委員の

—選任(既報)選挙管理委員会委員の

—選任(既報)

一般質問

災害復旧や県道の問題を聞く

一般質問が許可され、次のような質問が行なわれました。

—田口(庄)議員

(一)久須見林道を無反峠まで延長についての工事の見通しと、その計画を明らかにせよ。

(二)全国農山村部に広域行政を行なうため、モデル地区が設置されるに聞か、この指定を受けるように関係町村とともに研究する気持ちはないか、

(三)今井(梧)議員

(一)平地内村有地の処分について公入札することが妥当ではなかつたか。また、村有林の処分について、一部随契されたものがあつたが、原則として

公入札が望ましい。随契の理由を聞きたい。

—神戸議員

(一)県道白川、加子母線の災害復旧工事および、改良工事の早期完成に、さらに運動を強く

されたい。

(二)寒冷地の級地引き上げ運動を実施することと、その実現の可能性について聞きたい。

—安江(勝)委員

(一)八・一七災害復旧工事について、公共性の強い農道、橋り

ような工事費は、全額村で負担する考えはないか。小

災害復旧についての方針などを聞きたい。

—村議会臨時会—

災害復旧費など二百三十万円を補正

十二月二十六日、臨時会が開かれました。

—継続審議となつていた。昭和四十二年度の決算認定と、昭和四十三年度一般会計補正予算及び分担金徴収条例の一部改正などが、議題として上程審議され、いずれも

—原案どおり議決されました。

—

—

—

—

議題の審議に先立って、災害対策特別委員長に災害対策審議についての中間報告が求められ、委員長から経過報告と、災害復旧事業の財源措置について、当局へ次のとおり要望したことが報告されました。

—

—

—

—

—

—

—

—母子センターは、入院助産施設として認可された聞いたが事実か。事実なら非常に有利になるので、県当局とも折衝され、その運営に努力されたい。

(一)主要地方道、白川、加子母線の青写真はあるか、明らかにされたい。

(二)以上が質問の要旨の一部で、村長から次のような答弁が行なわれました。

(一)久須見林道の延長問題は、白川町側が着次第、直ちに着工する。農山村広域行政モデル地区の指定問題について、具体的ことはわかっていないが、財政援助など確実なら研究したい。

(二)土地処分問題については、その関係者がよく承知している

災害の査定、工事の促進に努力されたい。

以上の要望事項に対し、議題として採択する動議が提出され、この要望事項が議会の要望として、議決されました。

□昭和四十三年度東白川村一般会計補正予算(第八号)

—議決された補正予算は、総額二百三十四万八千円で、そのうち百八十五万八千円が、災害復旧費となつています。

(一)主要地方道の災害復旧については、早期実施を県に要望している。改良事業は、早急に多額な予算を付けてもらうよう要請することを確約する。

(二)災害復旧工事の地元負担は、現段階として一割程度持つてもらふことになる。小災害についても、地元負担など今後考慮していきたい。

—母子センターは入院助産施設として許可されているのでその運営については考えていきたい。

—主要地方道の青写真は、まだできていない。

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

善意の募金が十七万円

歳末たすけあい運動

みんなそろって明るなお正月をのスローガンで、昭和四十三年歳末たすけあい運動の結果がまとまりました。

この善意のたすけあい募金は、昭和四十二年の実績七万二千五百五十六円を大きく上回る十六万九千六百六十八円も集まり、関係者を感激させました。自分のことだけでせいっぱいで、赤い羽根一本を買うのさえ、不満を表わす今の世相の中で、ほんとうに明るく、うれしいニュースです。

皆さんのたすけあいの心が、生活に困っている人たち、からの不自由な人たちを、とだけ力づけることでしょうか。

ほんとうにありがとうございます。

募金を寄せられた部落

大口今井匡ほか十七名一三千元
 百五十円、平二班中丸今二ほか九名一七百四十円、平三班安江恵三ほか十名一千五百円、平四班今井貞雄ほか十八名一七百七十円、平五班神戸舜ほか八名一千百円、平六班古田俊三ほか十二名一千五百円、平七班今井貞男ほか八名一十名、平八班曾我修ほか十二名一千五百円、平九班沢木きしのほか十二名一四千五百円、平十班安江菊男ほか十七名一八百円、平十一班村雲忠男ほか十九名一二千五百円、平十二班安江益美ほか十三名一七百円、下観田安江良治

六十円、中通早瀬芳幸ほか三十四名一七百五十円、神村安江鉄郎ほか二十九名一二千三百九十円、中谷田口伝夫ほか二十三名一九千四百七十円、加舎尾完江茂ほか十七名一二千七百五十円、西洞安倍時夫ほか二十八名一三千二百八十五円、曲坂安江征六ほか二十八名一三千円、日向桂川政一ほか六十九名一一万四百六十円、栃山桂川ふじほか十七名一三千六百三十五円、黒瀬板垣春美ほか三十九名一三千二百五十五円、大明神安江淳六ほか六十名一二千七百四十円、柏本今井時夫ほか六十二名一四千七百円は宮代安江辰也ほか三十名一二千四百四十円、大沢今井利夫

募金を寄せられた団体と職場

越原小学校職員一同一十六百円
 東白川村活花会一三千元、五加小学校職員一同一十六百円、神土小学校職員一同一十五百一十円、五加保育園保母一同一三百円、東白川保育園職員一同一八百円、東白川村立正校正会青年部一四千元、全通東白川分会一二千五百円、美濃加茂社会福祉事業協力会一万元
 東白川村役場職員一同一十九千八百七十四円、民生委員一同一八千八百
 東白川中学校職員一同一二千八百

二十円、東白川有線放送職員一同立正校正会東白川地区一八千円、東白川中学校生徒会一同一四千三百円、越原保育園保母一同一五百円、田口建設従業員一同一千元

募金を寄せられたよいごたち

成瀬昌弘(神土小)一八百六十五円、安江ひとみ(神土小)一五百円、五加小学校児童会一同一五百円、越原小学校児童会一同一七百八十円、そのほか森藤一郎さんほか二名の方から、新品衣類六十六点が寄せられました。

生きる善意の心 こんな人や施設へ配分

生活保護世帯	二万三千元	本村出身者収容中の病院、施設	二万六千元
準生活保護世帯	二万三千元	慰問品購入代金	六千五百五十円
重度身心障害者	二万一千七百円	送料、雑費	七百円
重度身心障害児	五千六百円	合計	十三万七千八百五十円
長期入院療養者	一万三千三百円		
らい患者療養者	六千円		
老人ホームの老人	七千五百円		
母子寮の母子世帯	三千円		
救護施設の生活不能者			

(慰問品は、恵まれないことも多いのいる養護施設と、生活保護世帯へ配分しました。また募金の残金三万八千六十三円は、これからのたすけあい金として、保費に充てられます。

十二月の人の動きあれこれ

- 一出生
 - 安江 庄吉 郁子(二女)
 - 久子
 - 武井 常次 美奈子(二女)
 - 文字
 - 安江 貞行 一也(長男)
 - 喜和子
 - 安江 貞行
 - 牧野 三造 勇三(長男)
 - 治子
 - 大岩 俊逸 裕尚(長男)
 - 安江 隆 優子(長女)
 - 小住
 - 安江三子男 亜子(二女)
 - 経子
 - 一死亡
 - (平) 古田 芳男
 - (陰地) 安江 良春
- もち料理はいかがですか
- 正月来残ってカチカチになっているものはありませんか。暖かくなつてカビが生えないうちに、おいしく調理して食べましょう。ところで、青カビ、灰白色カビは空中で、湿気の多い所や水中では赤、黄色のカビがつかれますが、百度以上加熱すれば心配無いです。ヒビの入ったものは水浸して、カビの



がんは早期手術か決めて

「がん」はすでに皆さんもよく知っていられるように、一番恐ろしい病気として、恐れられています。

がんの特徴をいろいろあげてみましょう。

- (一) からだのどこでも発生します
- (二) 無制限に増大します。
- (三) まわりの臓器に伝はんし、とときには血管などを通じて、各部位に飛火(転移)します。

現在、特効薬はなく、薬や注射ではほとんど効果はありません。

完全に治すには、ごく初期にがん病巣を手術的に抜き取るしかありません。

以上のようにありますが、がんは、その場所によつて(たとえば胃がん、肝臓がん、肺がん、脳腫瘍など、からだの内部に発生した

もの)は、検便、検尿、血液検査レントゲン検査などを行なつても早期にみつけることは困難です。

とくに、この病気はその原因がはつきりしていないので、比較的早く自分でわかる病状が現われやすく、また、外から見つけられやすいような、乳がん、子宮がん、直腸がん、皮膚がんなどは完全に取り除くこともできますが、内部にできたがんは発見が遅れやすく、手術しても再発することが多くあります。

胃がんの予防はどうして予防したらいいのでしょうか

日本人のがんのなかで死亡率の高いものは、胃がんです。これは先にも述べたように、早期の発見がむずかしく、そのために手術が手遅れになったり、手術しても再発することが多い病気で、初期の胃がんの症状は、遺腸や慢性胃炎などと見分けることはむずかしく、そのため早くみつげるためには、いろいろな検査を何回となくくり返して行かなければな

な 健康 の ん 健 の ん 健

胃がん発見のための検査には、検便、胃液検査、レントゲン透視や異カメラなどがあります。これらの検査は、何年かに一回やれば良いものではなく、一年に何回となくくり返さねばなりません。

一番簡単な検査は検便ですが、検便で血液が認められれば、レントゲンやその他の精密検査を受けなければなりません。また、血液が認められなくても、何回かの検便や、その他の検査を受ける必要があります。何の症状がなくてもレントゲン検査は、年二回以上行なわない限り、早期発見はむずかしいといわれています。

とくに胃が弱いというような人は、なおさら精密検査が必要で、早期発見、早期手術が胃がん予防のただひとつの方法です。

なお、日本人のみが胃がんが多くに多く、西洋人には少ない理由として、西洋人は牛乳の摂取が多く、米食が少ないことを理由にあげている学者があり、小児期から米食を、牛乳等の多いパン食に変えることにより、かかりにくくなるというようにもいわれています。毎日牛乳を三合以上飲めば胃がんの発生が減少するという説は、これらの食生活にも大いに参考にしてよいでしょう。

その他のがんの予防は……

あいかわらず多い胃がんのほか、他のがんも年々多くなっています。

私たちの村でも最近になって、胃がんのほか、肺がん直腸がん食道がん、上頸がん、乳がん、子宮がんなどの発生が認められています。

どの部位のがんにとつても、最も大切なことは、早期発見、早期治療が原則であることはいうまでもありません。そのためには自分から健康診断を積極的に受けることや、少しでも異状があればただちに医師に相談することが大切です。

また、がんを心配するあまり、転々と医師を変えているうちに、がんが大きくなってとりかえしのつかないようなことにもなるので注意しましょう。心配な時には、かかりつけの医師に相談し、精密な技術や設備のある病院に紹介してもらうことも大切です。

高血圧の方には寒さが大敵です。とくに急に冷たい空気にふれることは禁物。夜中に、便所におきるときは、必ずはんでんなどを着せてやります。

けいじばん



- 揚げもちの中華煮
小さくたんざくに切りきつと揚げ、玉ネギ、人蔘、干しいたけホウレン草などいため合わせしょう油、さとで調味し、でんぶんでとじます。
- おろし煮
鶏肉や油揚げもちを巻き、炊め焼きにして薄いめの天つゆと大根おろしを入れきつと煮立てしてさらしネギをふりかけろ。
- おすましと、魚か肉、牛乳か卵を付けて一食にします。
- バター焼のり巻
半分は切つて、たつぷりのバターをフライパンにしき、ぶたをして弱火で焼き、薄くこげ目がついたら、味付けのりをこつてり巻いて食べます。
- 揚げもちの中華煮
小さくたんざくに切りきつと揚げ、玉ネギ、人蔘、干しいたけホウレン草などいため合わせしょう油、さとで調味し、でんぶんでとじます。
- おろし煮
鶏肉や油揚げもちを巻き、炊め焼きにして薄いめの天つゆと大根おろしを入れきつと煮立てしてさらしネギをふりかけろ。
- おすましと、魚か肉、牛乳か卵を付けて一食にします。



着々すすむ改善事業

総合農政へ第一歩

昭和四十四年は農政のうえでも新しい転機の時となりそうです。

連日の新聞紙上をにぎわしている「総合農政」という言葉はそのあらわれですが、米の増産対策を推進してきたのも政府ならば、米の作付転換をはかつて生産量を減らそうとしているのも政府で、真に確立された農政の必要性が今まで以上に叫ばれる年といえましょう。

しかしいずれにしても、米に依存しきつた農業から脱皮する時期にきている事は事実で、農業経営の新しい転換は、単に政府の政策を待つだけでなく、農民自身が求め、実行していかなければならない事です。その意味から、新しい年にふさわしく、本村農業の基幹である養蚕と茶業について、新しい話題を提供してみたいと思います。

茶園はもうすぐ100%に

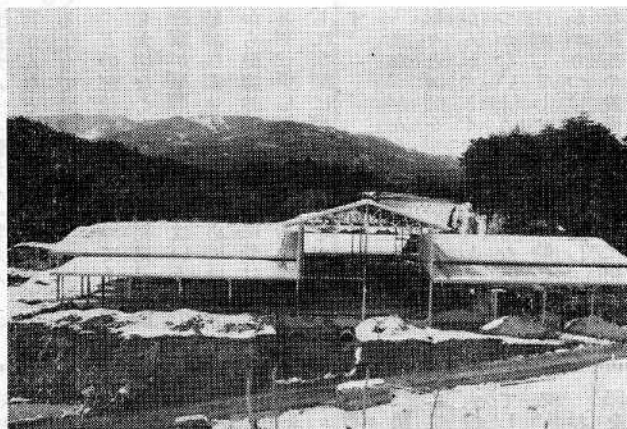
私たちの村における茶業の伸びは春の新芽の成長のように力強いものがあります。昭和四十四年度の生産額を百とすると昨年は三倍の伸び率となり年々四十パーセント以上の増産がなされています。管があげられます。定置配管そのものはめずらしいものではありませんが、茶園の病害虫防除のための定置配管は私たちの村では昨年実験的に神村集茶園などに設置

引き、さらに貯水そうから茶園全体へ配管をして適当な位置にコックを備えた施設と、ポンプ、エンジンの機械類を組合せたもので、貯水そうに薬液を入れて、ポンプで送水し、配管の先のコックにノズルを取り付けて噴霧する方法でコックからコックへ移動しながら防除しますから、従来の大型防除機で防除するよりも簡易にでき、防除効果もあがります。

自動飼育装置で100万円養蚕を

昨年のもゆの生産量は前年に比べ一割増と順調に伸び、金額も五千万円にあと一步という所まできています。中でも目だつた事は三百七十五キログラム以上のまゆをとった農家が四十戸と前年に比べて四十八パーセントも増加したことで、養蚕を主業とする経営の自

……このような状態が理想的で、今後の養蚕経営のあるべき姿といえましょうが、現在大規模経営をはばんでいる最大の要因は労働力の問題です。家族労働だけでは一定の規模以上は限度があります。それかといつて雇用労働力に頼



(建築すすむ曲坂の稚蚕共同飼育場)

……この装置は現在建設中の稚蚕共同飼育場です。この装置は現在建設中の稚蚕共同飼育場です。この装置は現在建設中の稚蚕共同飼育場です。

のを壮蚕飼育にも使用するわけでこの装置を使用すれば三人の家族労働力で一五期二十箱程度の飼育が楽にできます。昨年東白川村で一年間に一番多く飼育した農家の飼育量は二十一箱ですから今までの一年分を一回に飼育できることになりそうです。したがって飼育規模を一挙に四〜五倍に引き上げる事は可能で労働力の壁を破る画期的な装置であるといえましょう。しかし、欠点も

あります。最大の難点は価格が高い事で、建物までふくめて二百五十万円程度が必要になります。そこで考えられるのは共同利用です。年間四十箱程度を飼育する農家が、三戸か四戸共同でこの装置を利用すれば労働力の点も解決が付き、負担も軽減されるので、長期低利融資を利用すれば充分有利な経営を行なう事ができます。

養蚕の自立経営が叫ばれてすでに久しく、桑園面積も年々拡大してきましたが、一戸で百万円をあげる農家はまだ出現しませんが、新しい時代の企業養蚕は、機械力の高度利用と労働力の合理的な配分▼県民との信頼、協力関係の強化



岐阜県警察 ことしの目標

岐阜県警察は、百七十余万県民期待にこたえて平和な生活を守るため、ことしは、次の幅広い警察活動の方針を打ちだし、強力におしすすめることになりました。

警察活動は、県民の理解ある協力がただひとつの支えで、県民と警察が一体となつた強力な体制で平和な県民生活を確保するよう努力していきたいと思ひます。

盗難の予防と被害の回ふくに力をいれます。

盗難は県民にとって身近な被害です。盗難にあつたら、すぐ警察に届け出て下さい。早い届け出など犯人検挙を早め、それだけ被害の回ふく率も高くなります。

家庭では、自主的な防犯体制を整え盗難を未然に防止する。

捜査の技術を高め、早期に事件を解決し被害の回ふくにつとめる。

少年を非行から守ります

少年を非行から守るには、平和な社会であり、平和な家庭であることが大切なことはもうありません。父兄や関係団体と手を結びつぎのことをおしすすめていきます。

- (一) 街頭の補導活動を、充実強化する。
- (二) 家出少年や恵まれない少年の保護活動を強化する。
- (三) 地域ぐるみの非行防止体制の充実強化をはかる。
- (四) 交通の円滑化と、事故防止の徹底をはかります。

昨年、県史最高という不名誉

提言 村の将来へ 備えよう

昨年は明治百年、いうまでもなく明治維新は、近代日本の出発点として、いろいろ重要な意味を持つており、私たちに歴史の価値のとうとが教えられた年でした。

ことしは百一年、いろいろな障害を乗り越えてきた日本百年代の成果にこたえ、改めて反省すべきものは反省し、正すべき点は正して、良い面はさらに盛り上げ、次の百年への第一歩を踏みだすものとも意義ある年といえまわ。

ことに東白川村にとって昨年の後半は、八・一七豪雨によって、

原因をさぐると、運転者、歩行者ともに、いまなおモラルの乏しさがめだっているの、さらに次のことを重点にとりあげ強力におしすすめます。

- (一) 交通のルールが確実に実行されるよう指導を強化する。
- (二) 交通の円滑化を促進する。
- (三) 安全施設を充実し、交通環境の改善をはかる。
- (四) 無謀悪質な違反の、取り締りを強化する。
- (五) 暴力団と重大犯罪を、徹底的に検挙し、社会不安をなくします

八十一年前にまかれた種が立派に成長し、大地にしっかりと根を張るまでは、多くの先輩の方々のなみなならぬ苦労の後が数多く残されており、私たちは、いまやこの九十年の転機に立つて、先人たちの苦労をしのび、また郷土の将来にそなえて何をなすべきか、決意すべき年を迎えたといえます。

産業において、経済において、また教育文化においても、どんな種を残すべきか、どのように造り育てるべきか、ことしこそまっとう真険に考えてみたいものです。

そこで本村が、一昨年明治百年を機に、こうした意義を盛り上げるための記念大会を開き、いろいろの問題を提起してきました。

ことに東白川村にとって昨年の後半は、八・一七豪雨によって、

- (一) 暴力団の犯罪や、企業に巣くう知能的暴力犯罪は、この大小を問わずすべて検挙する。
- (二) 組織や計画をもつた多数の集団による暴力に対しては、断固たる態度で臨む。
- (三) これらの犯罪のほか、殺人放火など凶悪な犯罪の検挙に備えて、捜査体制を充実強化する。
- (四) 警察活動に協力したひとびとへの、補償と褒賞を充実する。

ことしはまた郷土八十年を区切りとして、将来への足がかりとなるための記念事業をおこしてはどうでしょうか。

ちなみに、いま話題となつていものの中から、東白川村発足八十年にふさわしい文化的な事業としてつぎのものがあります。

- ▼郷土の文化的遺産の継承と、文化財保護制度の設定。
- ▼郷土館(室)の設置、民俗資料の収集、保存。
- ▼郷土史(村誌)の編さん。
- ▼次代の青少年の育成と、将学金制度の拡充

(文責教育長)

希望を胸に神宮参拝

—おめでとう三十二人の若者たち—

さる一月十五日は「成人の日」として、満二十歳になった若ものたちを祝福する日として、全国的にいろいろな催しものが開かれました。

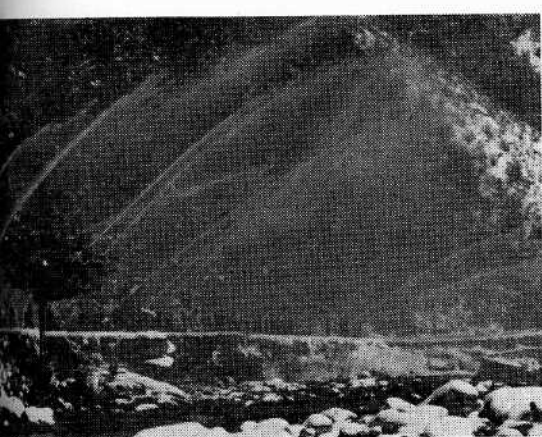
村でも、例年のように成人者全員を、貸切りバスによる伊勢神宮参拝へ招待しました。

これは、「成人祭」を単なるお祭りさわりだけで終わらせないた

め、五月三日に毎年行なっている成年記念植樹祭とともに、成年に自覚と責任を持たせるために、昭和三十八年から続けて実施しているものです。

最近話題になつていいる衣装見せなども関係なく軽装で参加した。

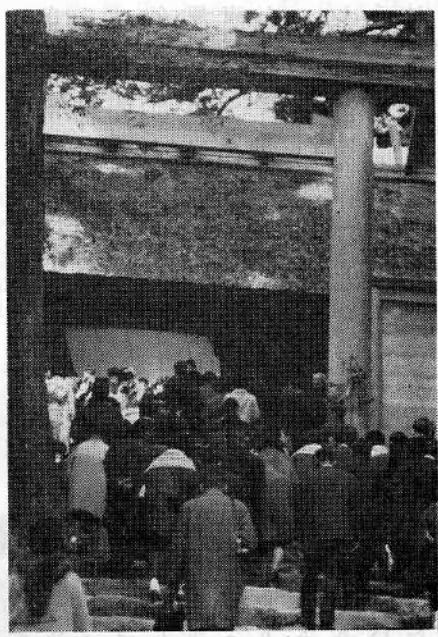
ことしの成人者は三十二人、神田神社を参拝したあと、午前六時出発、祝福のために同行した村長



寒風ついて いっせい放水

ことしも、恒例の新春消防出だめ式が神土小学校で行なわれました。降りしきる雪の中での、点呼、点検は、二百名団の心とつとなつた感じを受け、村の治安維持のための何かましまさを見るようでした。

最後に、いっせい放水と、ことしはじめて参加した東白川団のバンドに合わせた分列行進も、またみごとで



(参拝客でにぎわう伊勢神宮本殿)

はじめ村内各役職の皆さん十五人とともに、歌やゲームで楽しみながら伊勢へ向いました。

午後一時、外宮を参拝、そのあと内宮で特別参拝、身の引きしまる

思いで、代表の古田エツ子さん(神土親田)が「私た

ちは今日から成人としての自覚と誇りをもつて、明るく正しい社会

の実現に努力します」と力

つてその誓いを新たにしました。

好天に恵まれたこの日は、伊勢志摩スカイラインのながめはずばらしく、伊勢湾、鳥羽湾、遠くは知多半島までながめることができ、全員大喜びのうちに、休息場所の二見浦に到着しました。

二見浦を午後四時出発、途中何の事故もなく、明るいわらい声のなかで無事村へ帰り、それぞれ期待を胸に解散しました。

このメンバーは、こんど五月には、成人の山に記念植樹をするために、もういちど集まることになつていきます。村では、このように成人者を祝福する催しを行なっていますが、モデルケースとして広く紹介されています。

文芸

～俳句～



神戸早川
(正樹)

枯れてなお

そよぐは雪の尾花かな

縁に干す

紅美しや八賀燕かづ

境界の

争点となる一冬木

野施行や

なわてに置きし鶉のあら

外とうを

脱げば細身のあわれなり

飛驒川の

かれし奈落に石哭けり

日記買う

未知の月日にあこがれて

南嶺を

斜に日わたる冬至かな

寒空を

飛ぶはアポロか人魂か

石段を

一つ気に登り初詣



■おめでとうございます。発行が遅れました。ことしは例年のようないきつはなくして、災害などの状況をまとめ、一年のスタートの参考にしていただきたいと思います。編集しました。